

緑区南陵学区

災害時避難行動マップ

～死者ゼロ・火災ゼロ・逃げ遅れゼロを目指して～

この避難行動マップは、大規模な地震や風水害が発生した場合を想定し、南陵学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。避難行動マップをもとに、“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

あなたの自治会の一時的集合場所



指定避難所

・火災や家屋の倒壊、家具の転倒などにより、自宅に住むことが出来なくなった方が、**一定期間、避難生活を送るための施設**です。

南陵小学校 (TEL 623-6381)

【重要】 指定避難所の収容人数には限りがあります。避難所での生活は環境の変化から体調を崩す方も多いため、自宅で避難生活を送れるように、家具の固定と、7日分の備蓄を進めましょう。

指定緊急避難場所

・洪水・内水氾濫、土砂災害、大規模な火事などの、**目前に迫った危険から命を守るための場所**です。

指定緊急避難場所	災害種別	洪水・内水氾濫	土砂災害	地震の揺れ	大規模な火事
南陵小学校		○	○	グラウンド	×

※大規模な火事が発生した場合は、**清水山中央公園**へ避難してください。

【各町内会の一時的集合場所】

災害発生直後は行政機関が十分に機能しないため、地域の皆さまによる安否確認、初期消火、救助活動が、被害の拡大を防ぐ大きな力となります。まず、自分の身、そして家族の安全を確認後、一時的集合場所に集合して自主防災活動に参加しましょう。避難が必要な場合には、広い道路など安全な経路で指定避難所に向かいましょう。

番号	一時的集合場所	町内会名
①	野末公園	第11町内会
②	籠池公園	清水山一丁目町内会
③	下籠池公園	清水山二丁目町内会

※桶狭間荘(1号棟～14号棟)は各棟エレベーター前に集合

気を付けて!(地震編)

- 1. 空き家**
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険がある。
- 2. 古い(高い)ブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるためすぐ離れる。近づかない。
- 3. 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通れなくなる可能性がある。
- 4. 電線**
切れた電線は停電時でも感電の危険がある。近づかない。



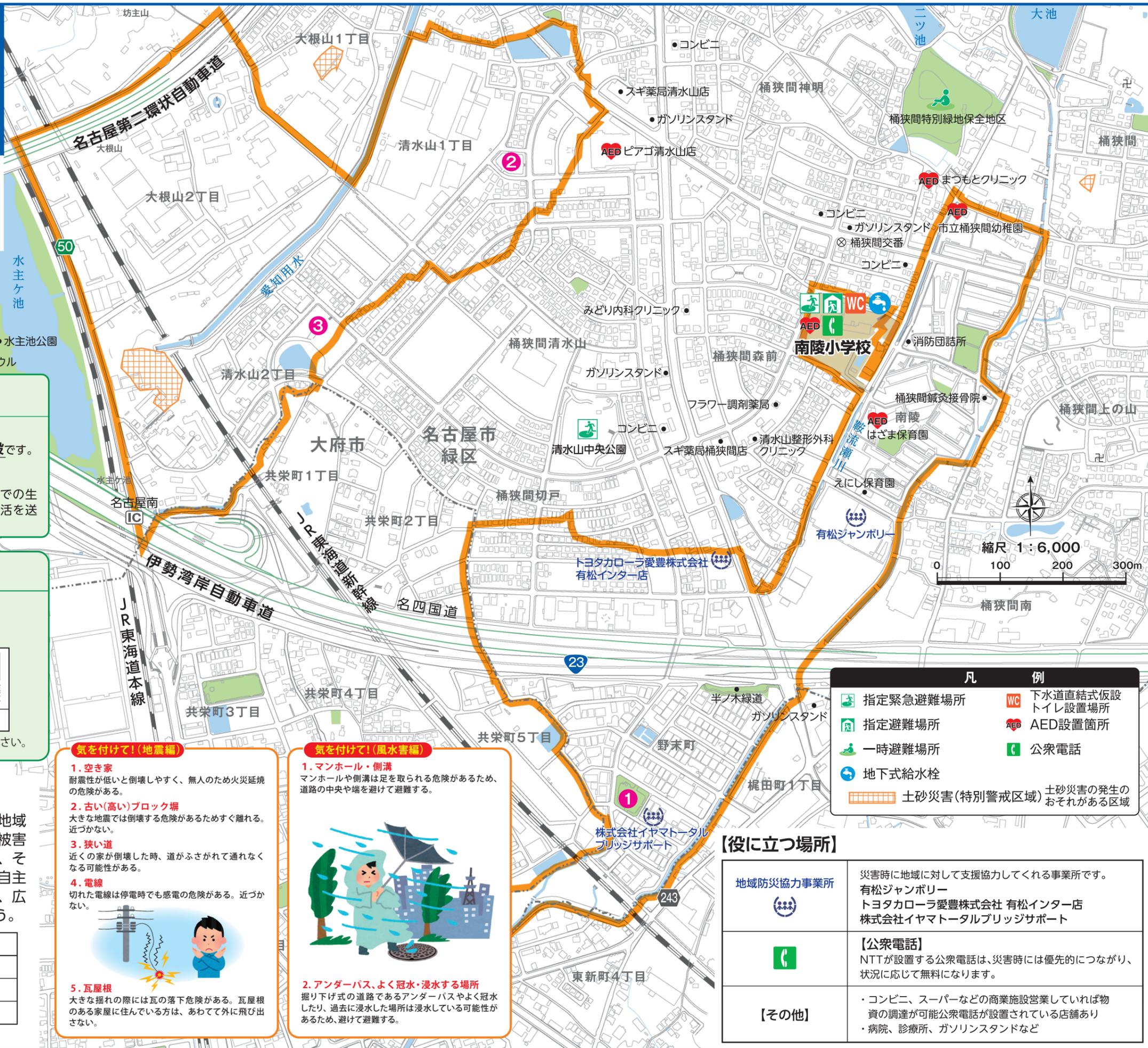
- 5. 瓦屋根**
大きな揺れの際には瓦の落下危険がある。瓦屋根のある家屋に住んでいる方は、あわてて外に飛び出さない。

気を付けて!(風水害編)

- 1. マンホール・側溝**
マンホールや側溝は足を取られる危険があるため、道路の中央や端を避けて避難する。



- 2. アンダーパス、よく冠水・浸水する場所**
振り下げ式の道路であるアンダーパスやよく冠水したり、過去に浸水した場所は浸水している可能性があるため、避けて避難する。



凡 例	
	指定緊急避難場所
	指定避難場所
	一時避難場所
	地下式給水栓
	土砂災害(特別警戒区域)
	下水道直結式仮設トイレ設置場所
	AED設置箇所
	公衆電話
	土砂災害の発生のおそれがある区域

【役に立つ場所】

地域防災協力事業所	災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。 有松ジャンボリー トヨタローラ愛豊株式会社 有松インター店 株式会社イヤマトータルブリッジサポート
【公衆電話】	NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。
【その他】	・コンビニ、スーパーなどの商業施設営業していれば物資の調達が可能公衆電話が設置されている店舗あり ・病院、診療所、ガソリンスタンドなど

緑区

世帯：1,874 世帯

南陵学区

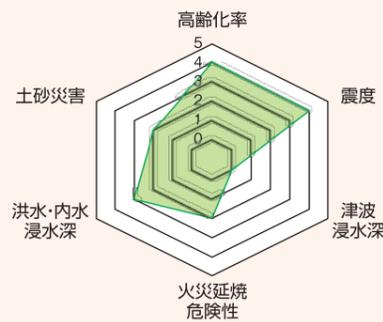
人口：3,808 人 面積：0.823 km²
(令和2年1月1日現在推計人口より)

南陵学区では、南海トラフ巨大地震（あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震の場合）が発生した場合、学区のほとんどの地域で震度6強が想定されています。まずは、自分や家族の身を守るために、日頃から家具の転倒防止などの家庭の地震対策に努めましょう。また、液状化が発生した場合は、建物が傾いたり、路上に泥水が流れ出し、通ることができなくなることがあります。これらを踏まえ、適切な避難先とそこまでの安全な経路を考えておきましょう。

当学区を流れる鞍流瀬川の付近では、雨水の排水が間に合わず浸水する危険性があります。避難の情報をしっかりと確認し、早めの避難を心掛けましょう。既に浸水が始まっている場合は、むやみに避難せず、自宅や周辺の安全な建物の上階に移動してください。

リスクレーダーチャート

	値	5段階
高齢化率	25.9%	4
震度	6強	4
津波浸水深	0m	0
火災延焼危険性	100~500棟未満	2
洪水・内水浸水深	1.0~2.0m 未満	3
土砂災害	警戒区域に人家10件未満	2



お住いの地域のことを知っておくことは大切です。ハザードマップをはじめとした災害リスクや避難先のほか、地形、歴史、建物状況（密集状況や古いブロック塀など）及び防災活動状況等を確認し、家族や町内会で話し合うなど、日頃から防災、減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

●参考資料として「地区防災カルテ」をご活用ください。
名古屋市 地区防災カルテ 検索

学区からのお知らせ

- ・いざという時に、隣近所で助け合えるように、地域行事に参加し、普段から顔の見える関係を築きましょう。
- ・大規模地震に備え、自宅での家具転倒防止をしましょう。

外国人の方へ (For Foreign Residents)

外国人に覚えてほしい防災のポイントを知ることができます。

You can find important disaster prevention information for foreign residents at the following website.

(<http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000088955.html>)



火災から命を守るために「今」できること

- 住宅用火災警報器を設置する。
- 住宅用消火器等を設置する。
- 感震ブレーカーを設置する。
- 隣近所の協力体制をつくる。



在宅避難のススメ

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。



一人ひとりの力を合わせて、大規模災害に立ち向かう！

- ◆まず、自分自身と家族の命を守ることが最優先です。その後、活動できる人は、隣近所、組、町内などで助け合う「自主防災組織」として、自主防災会長を中心に活動します。(安否確認、声かけなど)
- ◆災害の恐れがなくなった後も、避難生活は続きます。自宅(在宅避難)が一番ですが、自宅に戻れない場合は、「避難所管理組織」のもと、避難所で助け合って生活します。
- ◆「災害救助地区本部」は、区本部の補助機関であり、学区の被害や必要物資などを整理して区本部(区役所)に伝えるほか、様々な防災情報を学区の住民に伝達します。

避難先へ安全に避難するための5つのポイント

- ① ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る!
- ② 「一緒に逃げよう」近所への声かけ!
- ③ 高齢者や障害者などの避難誘導を!
- ④ 原則徒歩で! (渋滞抑止・高齢者や障害者などの避難を妨げない)
- ⑤ 木造住宅密集地、がけ地や川の近くは避けて!

一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動がとれるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など。

対応方法
やさしい言葉でゆっくり声かけ
メモや身振り手振りで伝える

移動が難しい方

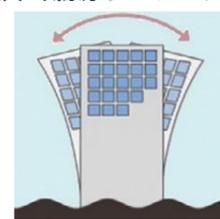
例えばこんな方
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。

対応方法
複数で手伝う
身近にあるものを利用する

マンションでの防災・減災

マンションは耐震性・耐火性のほか、保安面で優れていますが、大規模災害時には、長周期地震動による揺れ、火災延焼、エレベーター停止、断水等によるトイレの使用制限、住民の室内の様子が分かりにくい等マンション特有の懸念もあります。安心して生活するためにも、普段からの備えを進めましょう。

(例) 出典：気象庁ホームページ



● 高層建築物は、長周期地震動と共振して長時間、大きく揺れる。
(家具の転倒防止。できない場合でも部屋に「こだけは安全!」という場所をつくる)



● 配水管が安全確認できるまでできるだけ水を使わない。
(下階における汚水の逆流防止。簡易トイレ(便袋)などを活用)



● 地域コミュニティとの良好な関係
(日頃の挨拶・声掛け。熊本地震では地域と良好な関係を築いていたマンションに、地域の働きかけで支援物資が届いた事例がある)